

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 1 区分

【発行日】平成25年1月10日(2013.1.10)

【公表番号】特表2012-511932(P2012-511932A)

【公表日】平成24年5月31日(2012.5.31)

【年通号数】公開・登録公報2012-021

【出願番号】特願2011-542356(P2011-542356)

【国際特許分類】

A 2 3 K 1/18 (2006.01)

A 2 3 K 1/16 (2006.01)

A 6 1 P 31/12 (2006.01)

A 6 1 K 31/385 (2006.01)

【F I】

A 2 3 K 1/18 A

A 2 3 K 1/16 3 0 2 C

A 6 1 P 31/12 1 7 1

A 6 1 K 31/385

【手続補正書】

【提出日】平成24年11月14日(2012.11.14)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

愛玩動物においてインターフェロン仲介による抗ウイルス活性を増強するための方法であって、愛玩動物にインターフェロン仲介による抗ウイルス活性を増強するのに有効な量のリポ酸を含むペットフード組成物を与えることを含み、その際、有効量が少なくとも 2 5 p p mである方法。

【請求項 2】

有効量が少なくとも 5 0 p p mである、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

有効量が少なくとも 1 0 0 p p mである、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 4】

有効量が約 1 0 0 p p m～約 6 0 0 p p mである、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 5】

有効量が約 1 0 0 p p m～約 2 0 0 p p mである、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 6】

愛玩動物がイヌである、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 7】

愛玩動物がネコである、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 8】

有効量が愛玩動物において内的抗ウイルス活性を増強するのに有効である、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 9】

ペットフード組成物を少なくとも 1 5 日間投与する、請求項 1 ～ 8 のいずれか 1 項に記載の方法。

【請求項 10】

ペットフード組成物を少なくとも30日間投与する、請求項1～9のいずれか1項に記載の方法。

【請求項 11】

ペットフード組成物を少なくとも45日間投与する、請求項1～10のいずれか1項に記載の方法。

【請求項 12】

ペットフード組成物を少なくとも1日1回投与する、請求項1～11のいずれか1項に記載の方法。

【請求項 13】

組成物がさらに、イチョウ、柑橘類果肉、ブドウ搾りかす、トマト搾りかす、ニンジン、ハウレンソウ、ベータカロテン、セレン、コエンザイムQ10（ユビキノン）、ルテイン、トコトリエノール類、ダイズイソフラボン類、S-アデノシルメチオニン、グルタチオン、タウリン、N-アセチルシステイン、ビタミンE、ビタミンC、アルファリポ酸およびL-カルニチンから選択される抗酸化剤を含む、請求項1～12のいずれか1項に記載の方法。